

ああ、思い出した、あの鮭だ。



近代洋画の開拓者

高橋由一

東京藝術大学大学美術館

2012年

4月28日(土)～6月24日(日)

休館日：月曜日(ただし4月30日は開館)

開館時間：午前10時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで

主催：東京藝術大学、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

協賛：日本写真印刷、あじおユニッセイ同和損保

特別協力：金刀比羅宮

協力：東京藝術大学大学院文化財保存学専攻保存修復油画研究室

《鮭》重要文化財

東京藝術大学 1877年頃
油彩 紙 140.0×46.5cm



http://

yuchi2012.jp

近代洋画の開拓者

高橋由一

《蛙》や《花魁》(いずれも重要文化財)を描いた画家として知られている、明治時代を代表する洋画家、高橋由一の全貌を紹介する展覧会です。

明治維新後に丁髷を落とし「由一」を名乗るところから、近代洋画の父と呼ばれる高橋由一の活躍がはじまります。この時すでに40歳を超していました。絵が好きで画家になりました、といった甘さは微塵もなく、洋画を日本に普及するのが自分の果たすべき使命だという強い自負にあふれていました。画塾を開き、展覧会を催し、美術雑誌を刊行し、ユニークな美術館建設構想も抱きました。日本には洋画が必要なのだ、ということに必死になって世間に入ったのです。由一には留学経験がありませんが、本場の西洋画を知らずに写実に挑んだ男が生み出した油絵だからこそ、黒田清輝以降の日本洋画の流れとは一線を画す「和製油画」として日本的な写実を感じさせるのです。

本展では、由一の代表作を網羅し、初期から晩年までの作品を一堂に紹介するほか、イメージソースとなった広重や司馬江漢らの作品、あるいは「由一史料」と呼ばれる文書類もあわせて展示し、「近代洋画の開拓者」高橋由一の魅力を探ります。



《鴨図》 山口県立美術館 1877年 油彩・麻布 45.5×67.0cm



《鵜飼図》 ボーラ美術館 1892年 油彩・麻布 93.0×146.2cm



《桜花図》 金刀比羅宮 1879-80年頃 油彩・麻布 51.4×63.9cm



《芝浦夕陽》 金刀比羅宮 1877年 油彩・麻布 66.0×120.5cm

観覧料 前売券販売期間 2012年2月5日(日)～4月27日(金)

	当日	前売	団体
一般	1,300円	1,100円	1,100円
高校・大学生	800円	600円	600円

*中学生以下無料 *団体券は20名以上(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料) *障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料

チケット取り扱い 展覧会公式サイト <http://yuichi2012.jp>、ローソンチケット(Lコード30040)、チケットぴあ(Pコード764-969)、イープラス <http://eplus.jp/>、セブンイレブン(セブンコード014-349)、JTB店頭ほか(手数料がかかる場合があります)

お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会公式サイト <http://yuichi2012.jp>

特典付のお得な前売券

●選べるポストカード3枚付チケット 1,300円
3月28日(水)～4月27日(金)の期間限定、ローソン(Lコード30040)とサークルK・サンクス(Pコード765-046)でのみ販売。本展のポストカード3枚がついた前売券です。さらに、同券の半券を提示すると、美術館内の大浦食堂(1階)とミュージアムカフェ(2階)で提供される特別鮭メニューを100円引きでお召し上がりいただけます。詳細は展覧会公式サイトで。

東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

<http://www.geidai.ac.jp/museum/>



交通案内

JR上野公園口、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
駐車場はございませんので、お車のご来館はご遠慮ください。

【巡回情報】
《山形展》山形美術館
〒990-0046 山形県山形市大手町1-63
<http://www.yamagata-art-museum.or.jp/ja/>
2012年7月20日(金)～8月26日(日)

●《京都展》京都国立近代美術館
〒606-8344 京都府京都市左京区岡崎門勝寺町
<http://www.momak.go.jp/>
2012年9月7日(金)～10月21日(日)

同時開催 芸大コレクション展 ― 春の名品選 *当日に限り本展の観覧券で併せてご覧いただけます。